

中小企業景況調査報告書

平成 21年 4月～6月 実績

平成 21年 7月～9月 予測

京都府商工会連合会

目 次

1. 中小企業景況調査の概要(京都府).....	2 ~ 3
2. 京都府内産業全体の景況.....	4 ~ 5
3. 製造業の景況.....	6 ~ 8
4. 建設業の景況.....	9 ~ 11
5. 小売業の景況.....	12 ~ 14
6. サービス業の景況.....	15 ~ 17

D・Iとは

この報告書の中で用いているD・I指数とは、デیفュ・ジョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向の度合いを表す指標として利用されています。

算出方法

増加（上昇・好転・長期化等）企業割合 - 減少（低下・悪化・短期化等）企業割合

D・Iが、プラス（+）値..... 強気（楽観）を表す。

D・Iが、マイナス（-）値..... 弱気（悲観）を表す。

例えば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減小企業20%の場合、

D・I指数は $50\% - 20\% = 30\%$

となり、経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

中小企業景況調査の概要 (京都府)

この調査は、商工会地域の産業の状況等地域の経済動向等について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集把握して、経営改善普及事業の効果的な指導資料にするため、昭和54年度から全国商工会連合会と提携し、全国一斉に実施しているものです。

調査要領と、本年度の調査対象商工会及び調査回答企業数の内訳は次のとおりです。

1. 調査対象期間

平成21年4月～6月期を対象とし、調査実施時点は6月1日(月)、実施期間は5月27日(水)～6月2日(火)とした。

2. 調査の方法

- (1) 商工会の経営支援員の訪問による面接調査とした。
- (2) 調査対象商工会の選定は、管内ごとの市町村人口を勘案し、調査対象企業の抽出は、各業種・規模等の有意抽出法とした。

3. 調査対象商工会及び回答企業数 (調査対象企業数 150企業)

商工会名	製造業	回答数	建設業	回答数	小売業	回答数	サービス業	回答数	構成比
福知山市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
八幡市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
京丹後市	6	6	6	6	9	9	9	9	100.0%
南丹市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
大山崎町	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
井手町	4	4	3	3	5	5	3	3	100.0%
宇治田原町	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
木津川市木津町	3	3	3	3	5	5	4	4	100.0%
京丹波町	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
合計	31	31	30	30	43	43	46	46	100.0%

対象業種別構成等

	業 種 別	対象企業数	構 成 比	回答企業数	回 答 率
製造業	09 食 料 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	10 飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	11 織 維 工 業	7	22.6%	7	100.0%
	13 家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	15 印 刷 ・ 同 関 連 業	2	6.5%	2	100.0%
	16 化 学 工 業	1	3.2%	1	100.0%
	18 プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	3	9.7%	3	100.0%
	21 窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	23 非 鉄 金 属 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	24 金 属 製 品 製 造 業	8	25.8%	8	100.0%
	26 生 産 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	27 業 務 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	31 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	2	6.5%	2	100.0%
	32 そ の 他 の 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	小 計	31	20.7%	31	100.0%
建設業	06 総 合 工 事 業	21	70.0%	21	100.0%
	07 職 別 工 事 業	2	6.7%	2	100.0%
	08 設 備 工 事 業	7	23.3%	7	100.0%
		小 計	30	20.0%	30
小売業	56 各 種 商 品 小 売 業	1	2.3%	1	100.0%
	57 織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	6	11.8%	6	100.0%
	58 飲 食 料 品 小 売 業	20	46.5%	20	100.0%
	59 機 械 器 具 小 売 業	7	16.3%	7	100.0%
	60 そ の 他 の 小 売 業	9	20.9%	9	100.0%
		小 計	43	28.7%	43
サービス業	44 道 路 貨 物 運 送 業	1	2.2%	1	100.0%
	68 不 動 産 取 引 業	1	2.2%	1	100.0%
	72 専 門 サ ー ビ ス 業	2	4.3%	2	100.0%
	74 技 術 サ ー ビ ス 業	2	4.3%	2	100.0%
	75 宿 泊 業	2	4.3%	2	100.0%
	76 飲 食 店	13	28.3%	13	100.0%
	78 洗 濯 ・ 理 容 ・ 美 容 ・ 浴 場 業	15	32.6%	15	100.0%
	79 そ の 他 の 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	1	2.2%	1	100.0%
	88 廃 棄 物 処 理 業	2	4.3%	2	100.0%
	89 自 動 車 整 備 業	6	13.0%	6	100.0%
	92 そ の 他 の 事 業 の サ ー ビ ス 業	1	2.2%	1	100.0%
		小 計	46	30.7%	46
合 計		150	100.0%	150	100.0%

* 対象業種区分は「平成21年度中小企業景況調査実施要領」

・京都府内産業全体の景況

全ての業種で、ほとんどのD.I.（景気動向指数・前期比）の改善が見られるが、依然として厳しい状況が続いている。

売上高

前期と比べ、全ての業種で上昇しているが、特に小売業の上昇幅が大きい。

採算

前期と同様低位であるが、全ての業種で上昇している。

設備投資

建設業を除く全ての業種について設備投資の改善が見られる。

業種別景況指標（景気の天気図）

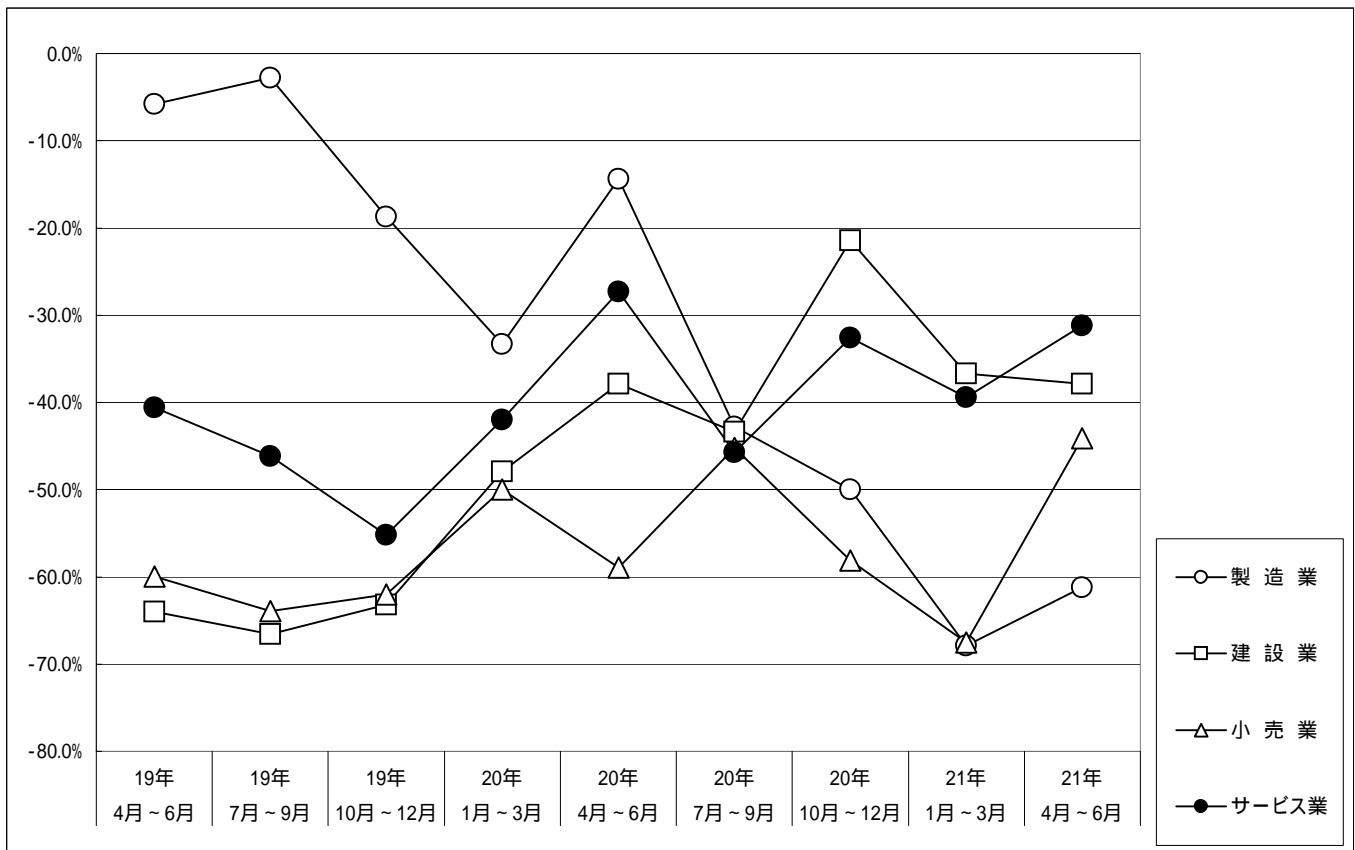
	20年 4月～6月	7月～9月	10月～12月	21年 1月～3月	4月～6月	(見通し) 7月～9月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

天気図のよみ方

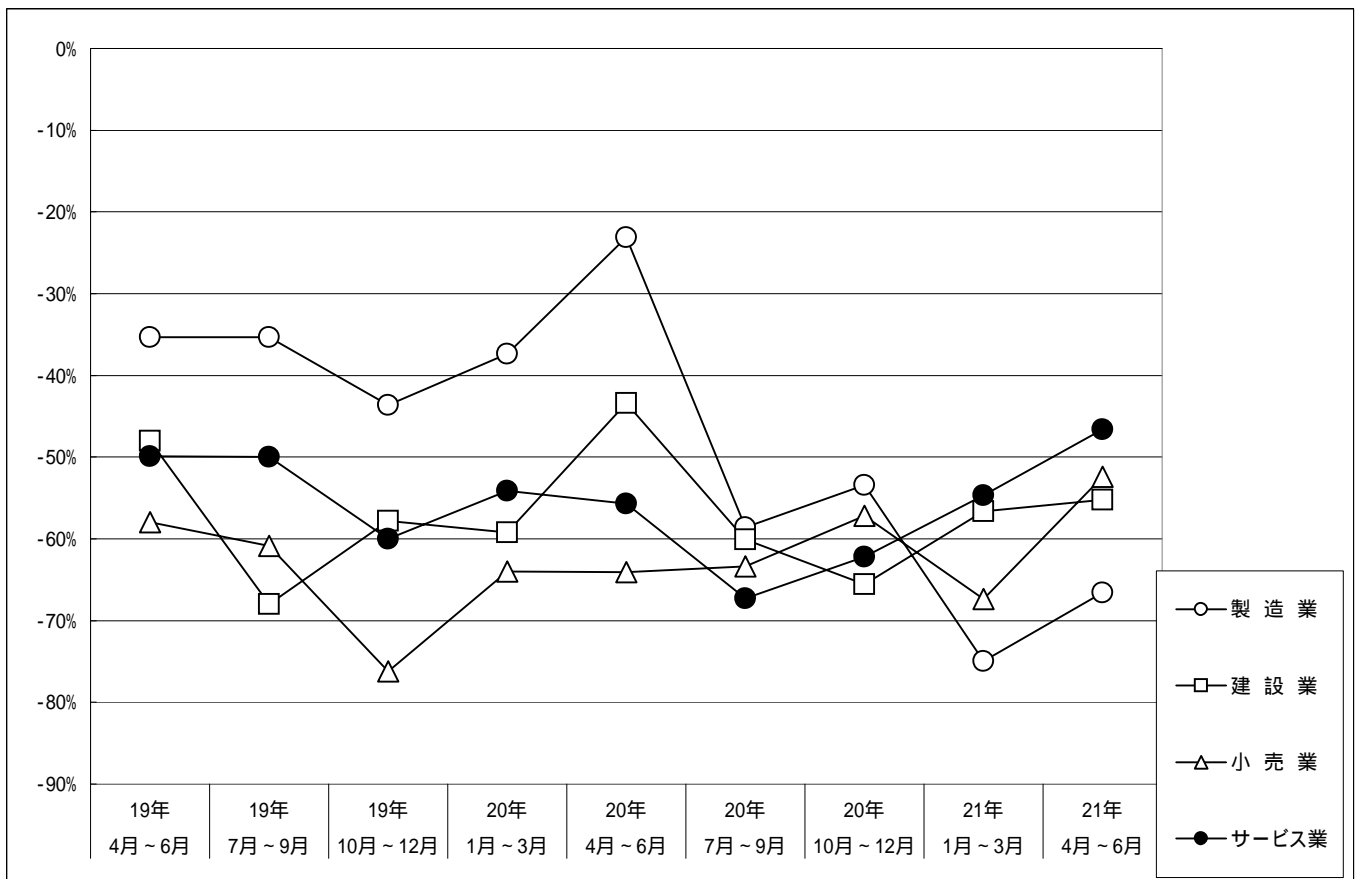
D・I値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0	0.0～25.0	25.1～50.0	50.1～100
指標						
内容	特に好転	好転	やや好転	やや悪化	悪化	特に悪化

2.売上高と採算の推移

売上高D・I (景気動向指数) の推移 - 前年同期比 -



採算D・I (景気動向指数) の推移 前年同期比



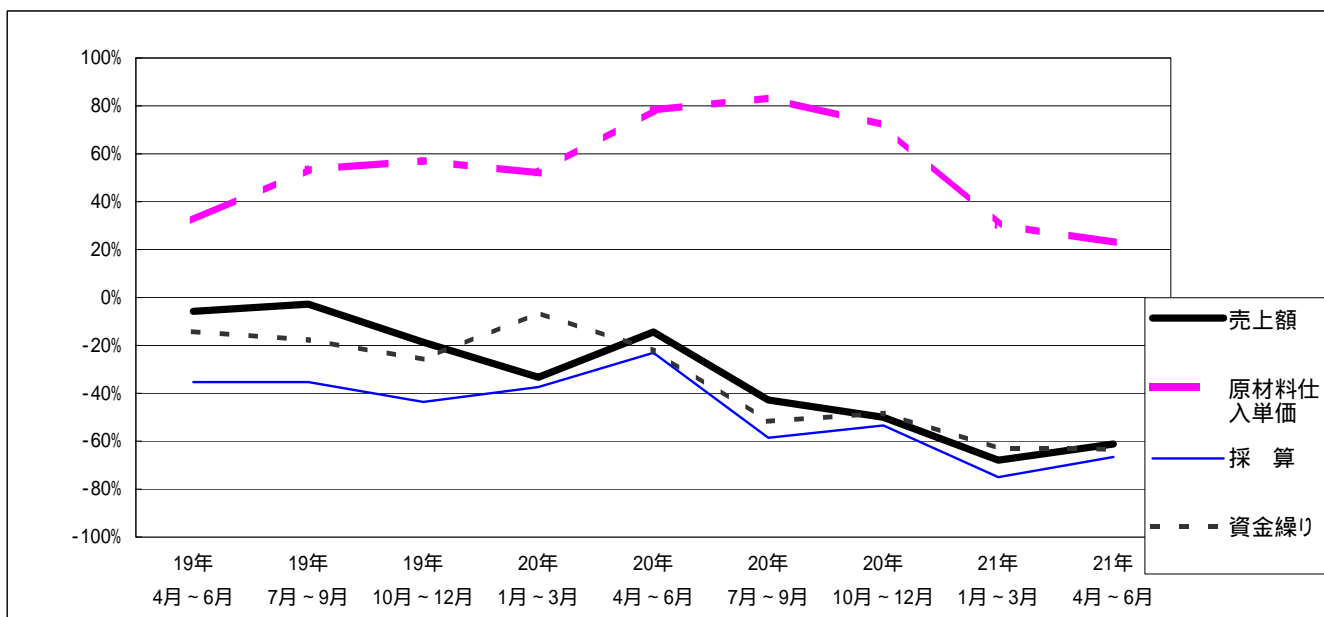
3. 製造業の景況

製造業の推移

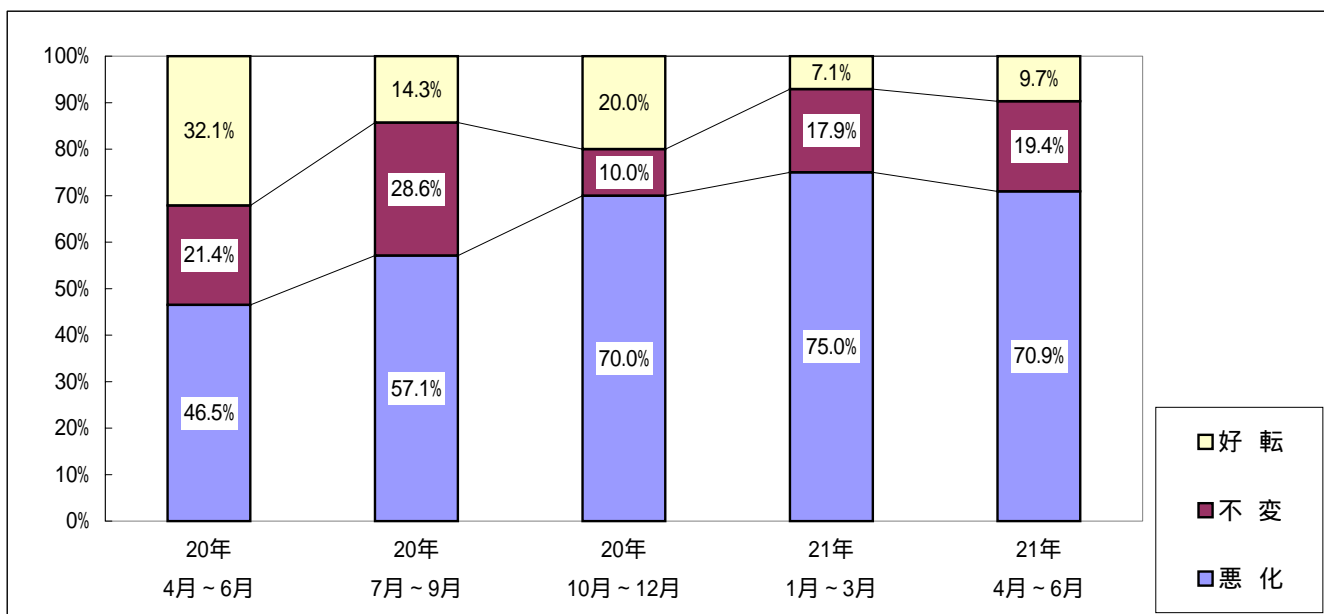
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額がマイナス61.2（前期比6.7ポイント上昇）、採算はマイナス66.6（同8.4ポイント上昇）、資金繰りはマイナス63.3（同0.3ポイント低下）と厳しいながらも一部ポイントの上昇が見られる。

製造業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
売上額	-14.4%	-42.8%	-50.0%	-67.9%	-61.2%	-61.2%
原材料仕入単価	78.3%	83.3%	72.0%	30.4%	23.1%	-4.1%
採算	-23.1%	-58.6%	-53.4%	-75.0%	-66.6%	-69.0%
資金繰り	-22.2%	-51.7%	-48.3%	-63.0%	-63.3%	-41.4%

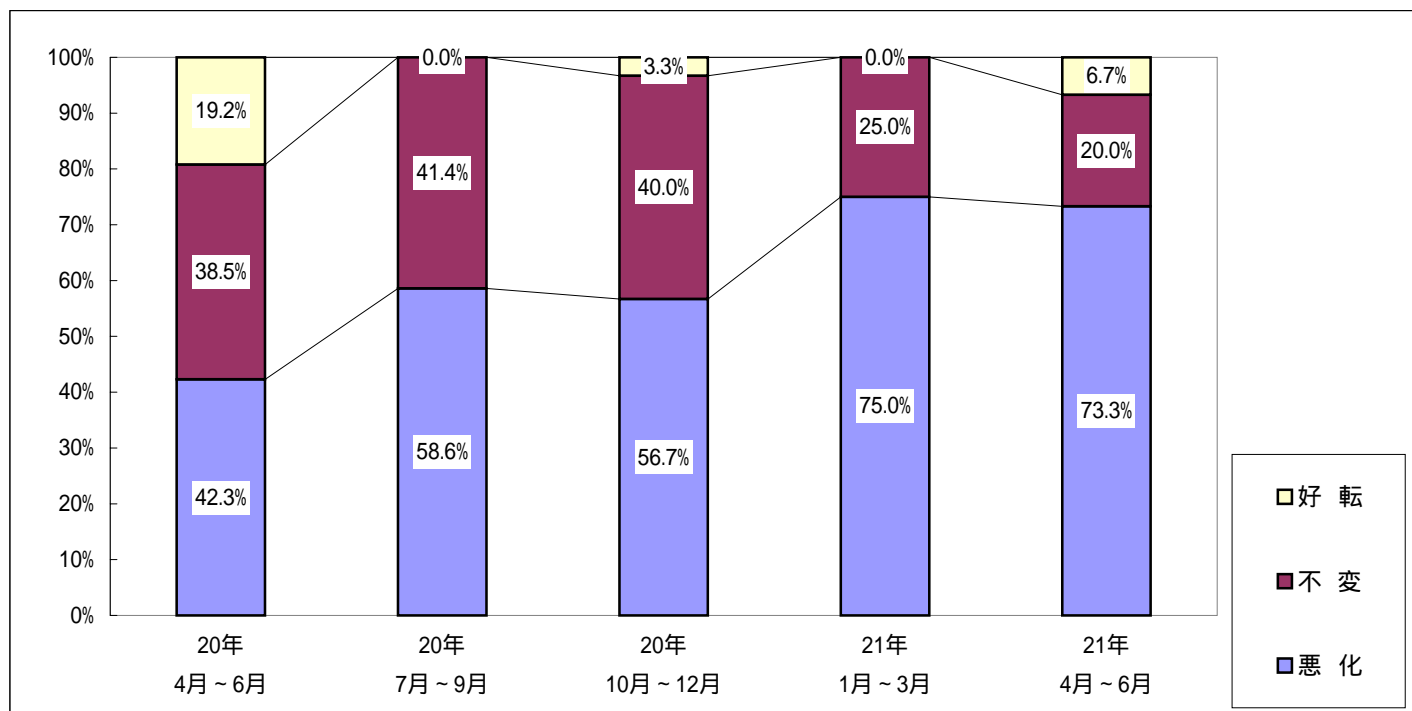
製造業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



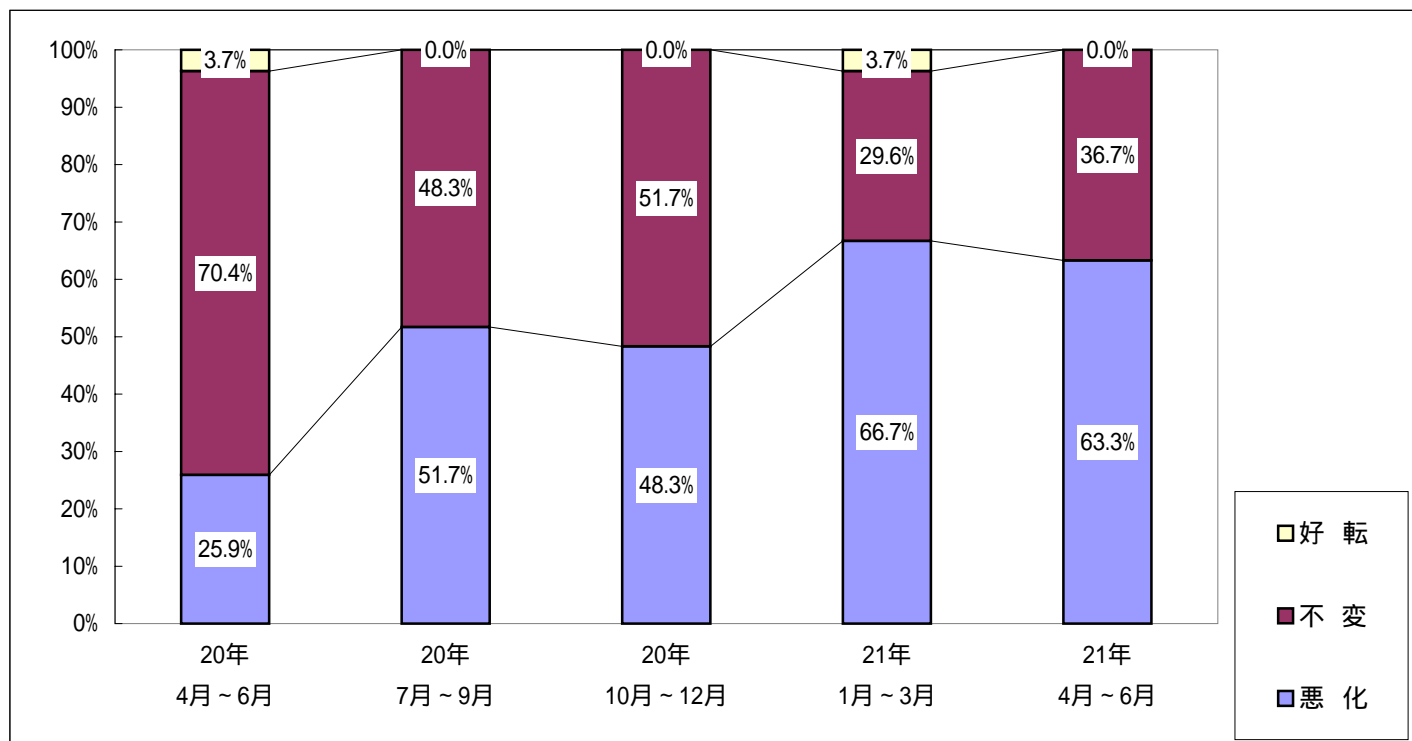
売上（加工）額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



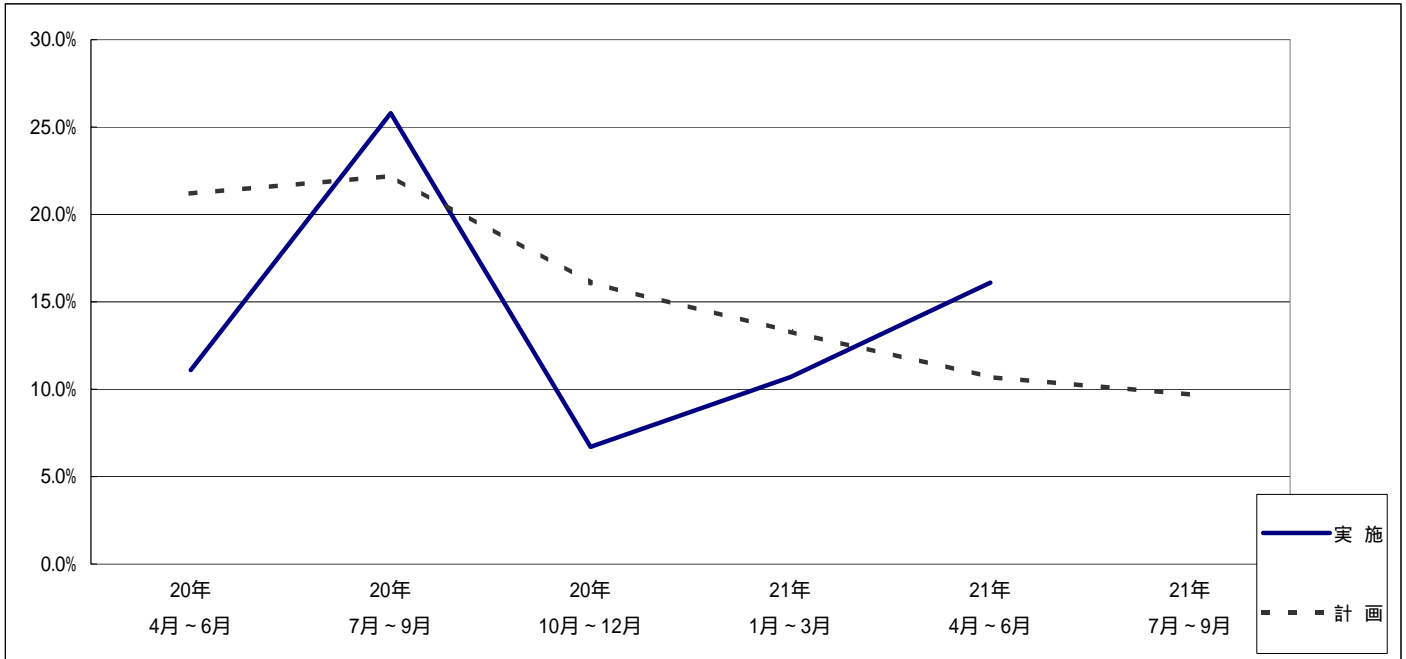
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

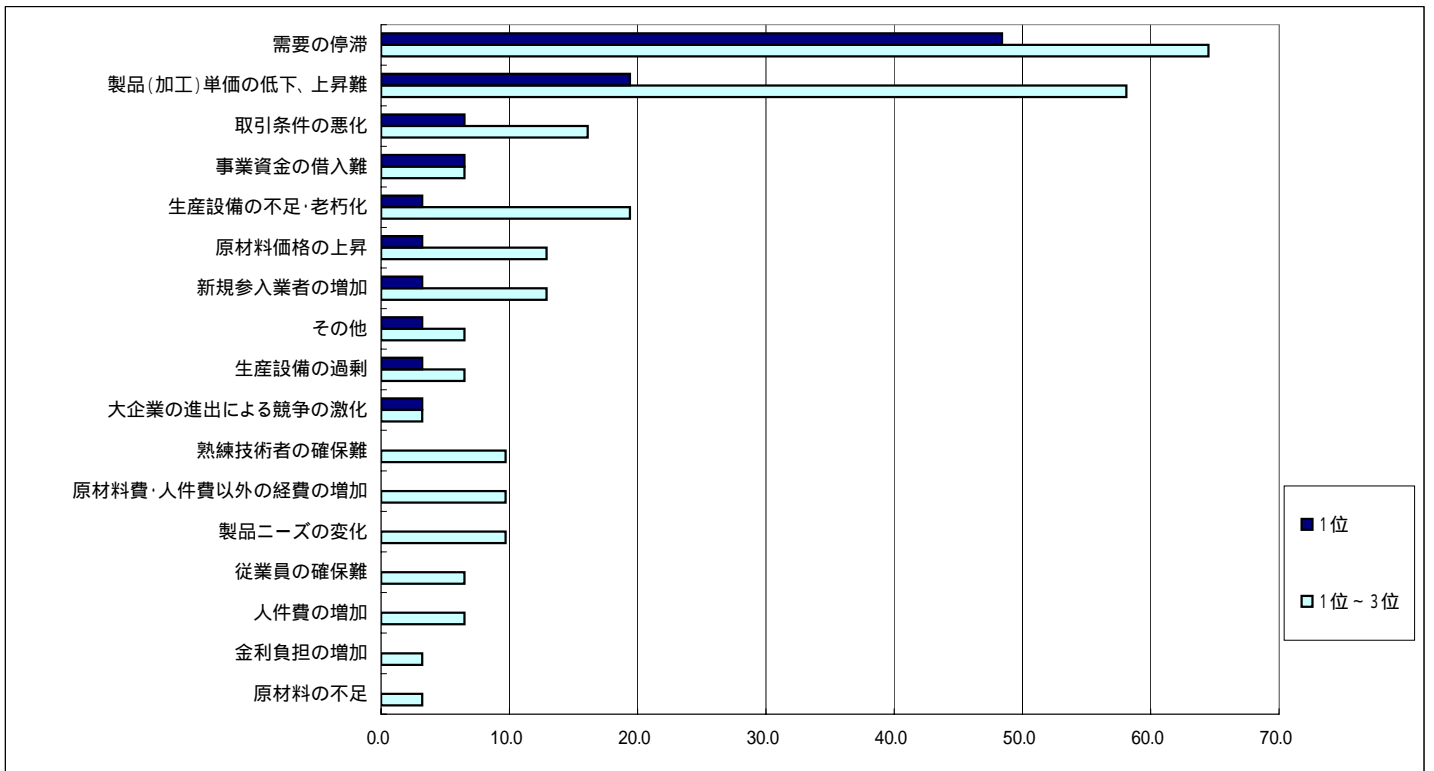
製造業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
土地	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	66.7%	75.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
生産設備	0.0%	25.0%	50.0%	66.7%	60.0%	33.3%

21年7月～9月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

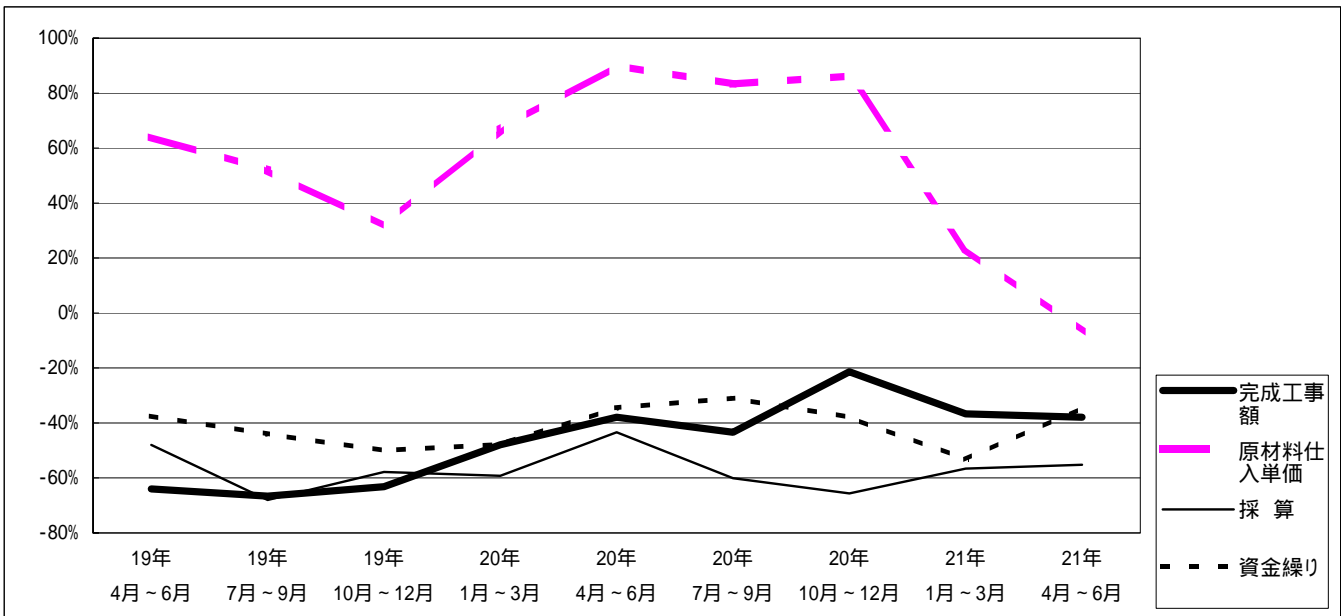
4. 建設業の景況

建設業の推移

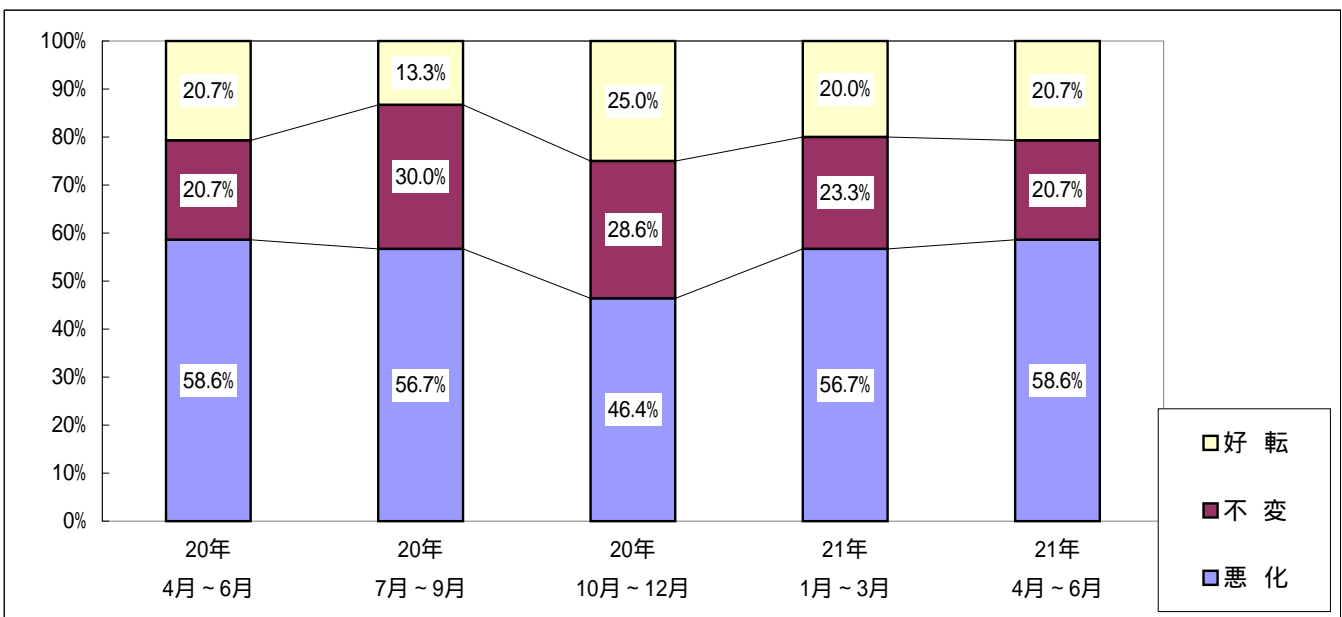
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、完成工事額がマイナス37.9(前期比1.2ポイント低下)と更に低下となり、採算はマイナス55.2(同1.4ポイント上昇)、資金繰りはマイナス34.5(同18.8ポイント上昇)と上昇が見られるが、依然として厳しい状況が続いている。

建設業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
完成工事額	-37.9%	-43.4%	-21.4%	-36.7%	-37.9%	-46.4%
原材料仕入単価	90.0%	83.3%	86.2%	23.4%	-6.9%	-21.5%
採算	-43.4%	-60.1%	-65.6%	-56.6%	-55.2%	-53.7%
資金繰り	-34.5%	-31.0%	-37.9%	-53.3%	-34.5%	-46.4%

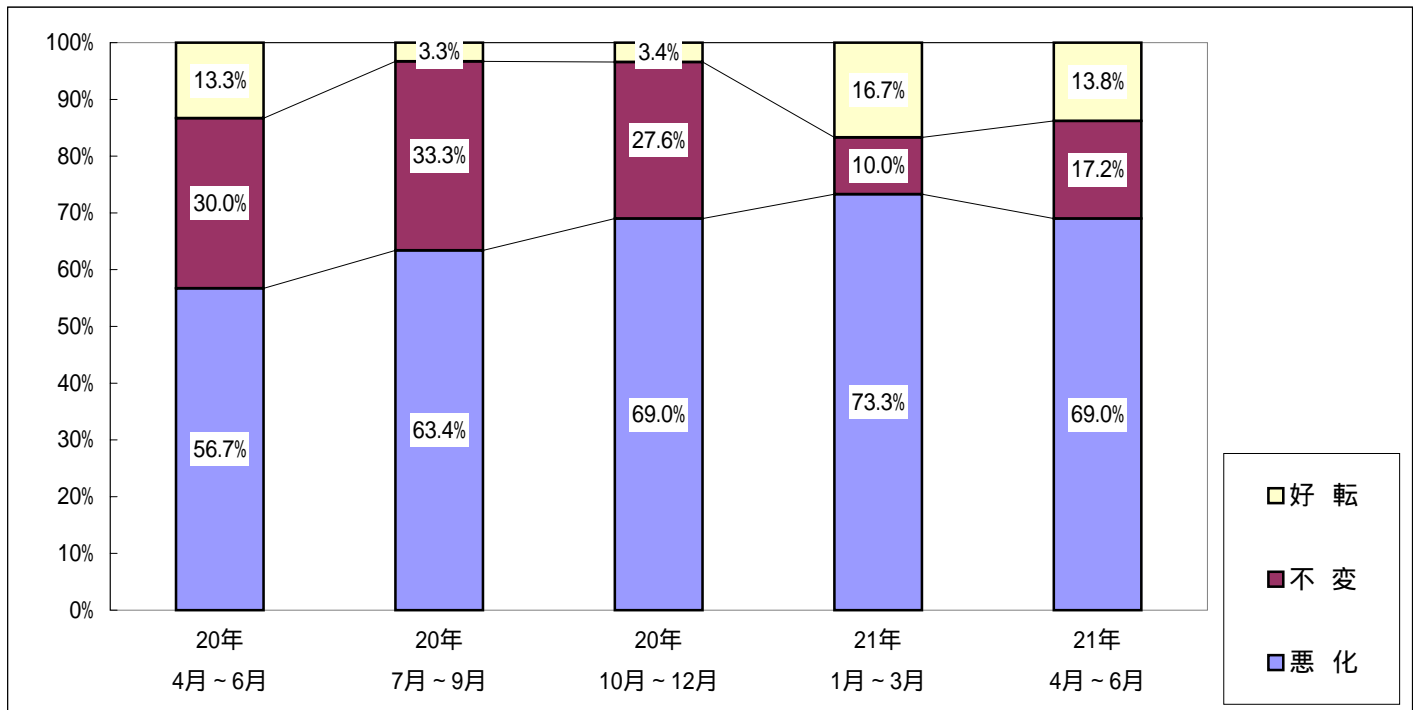
建設業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



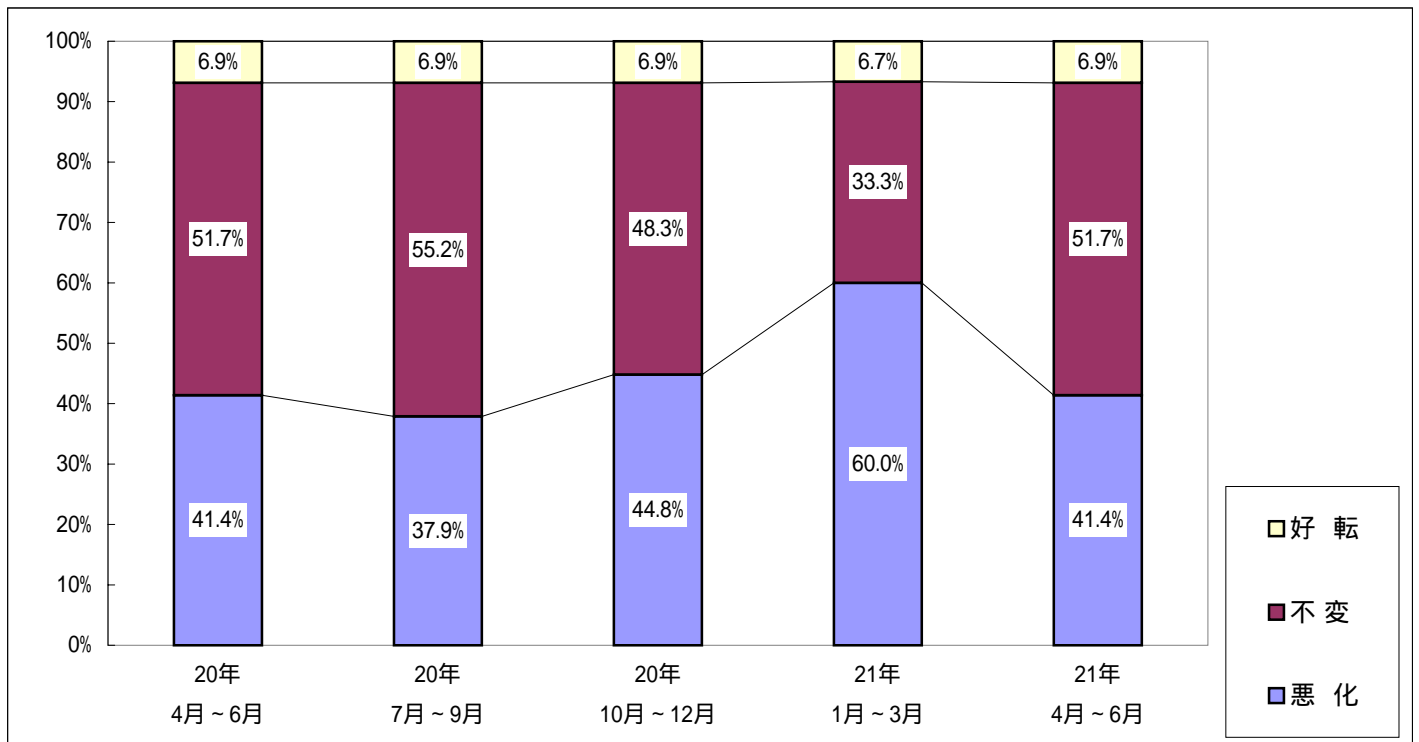
完成工事額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比 (D・I値)



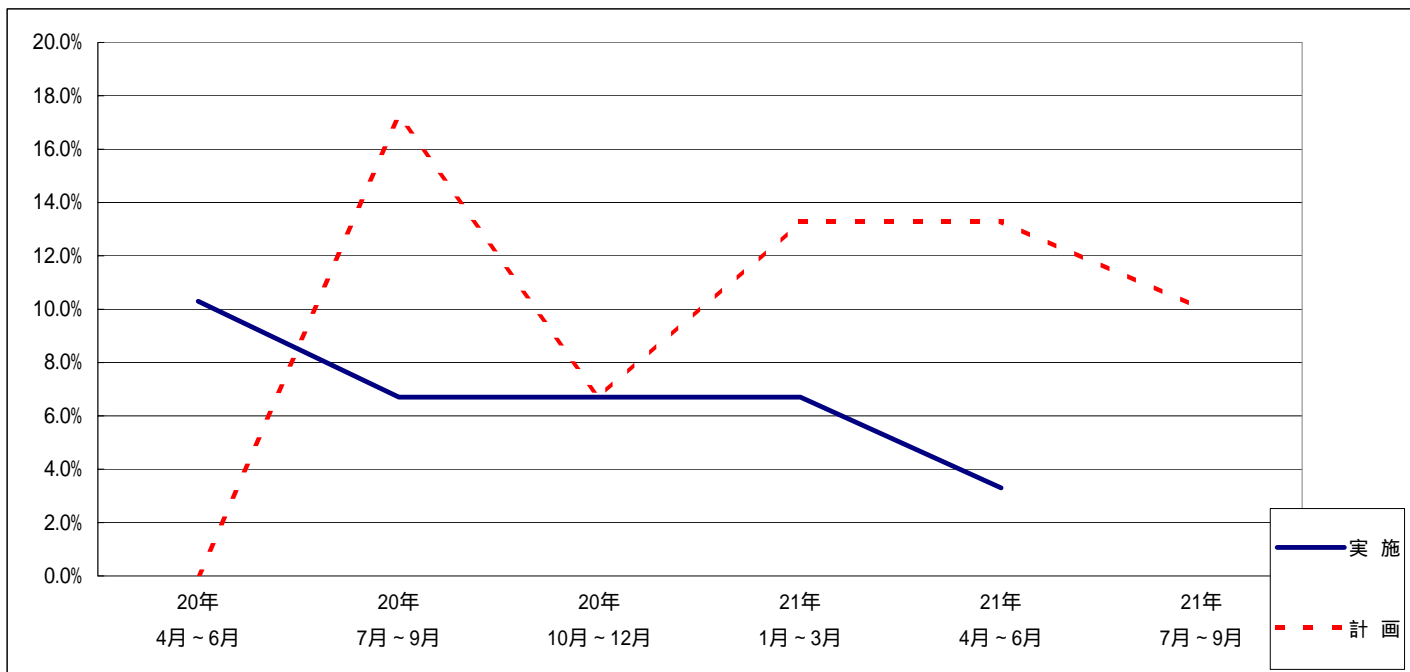
資金繰りの状況 前年同期比 (D・I値)



設備投資の状況

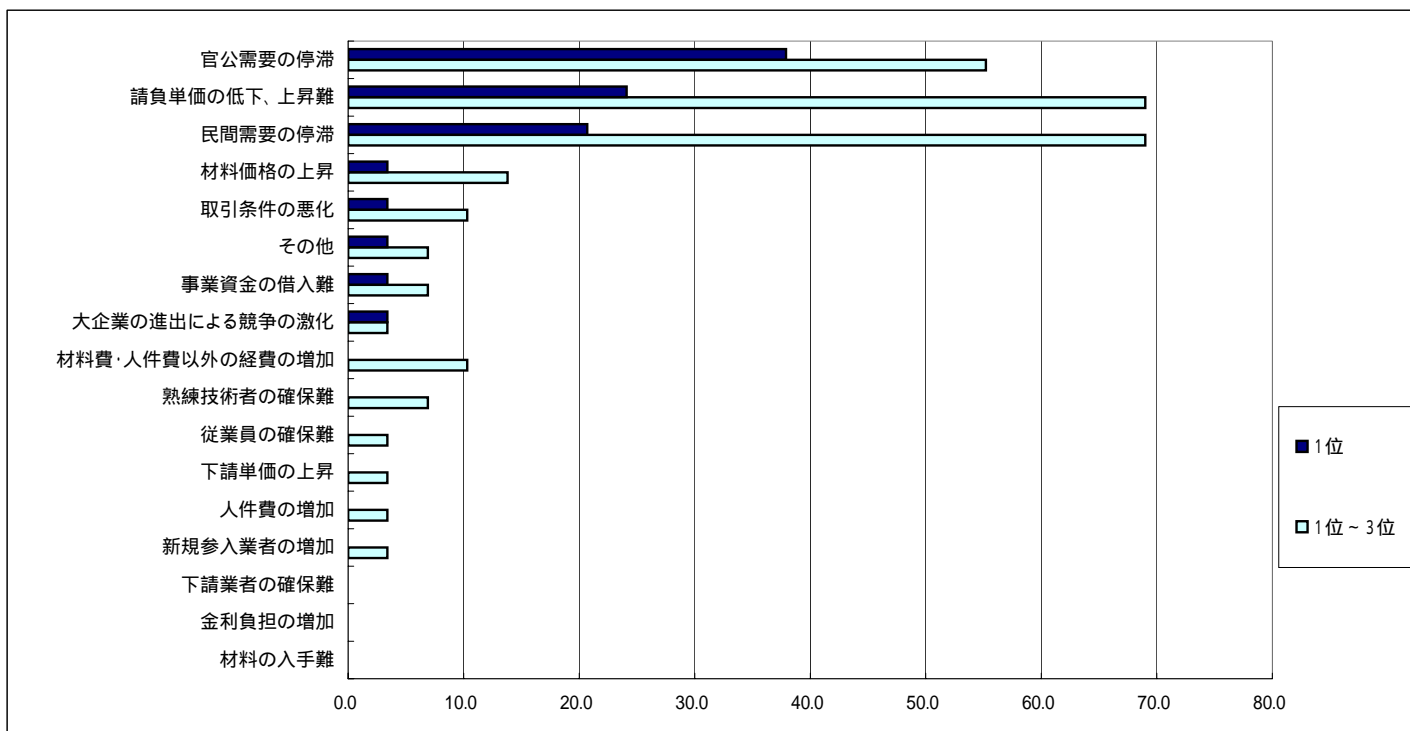
建設業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	33.3%	0.0%	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%
建設機械	66.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

21年7月～9月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

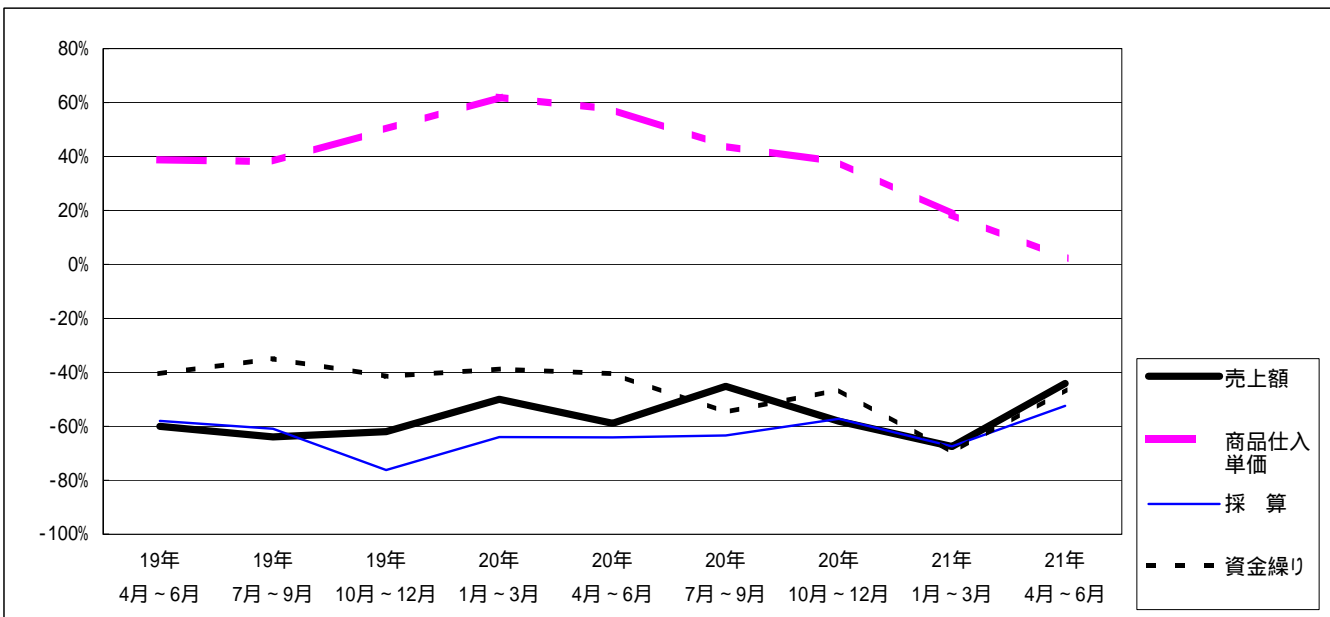
5. 小売業の景況

小売業の推移

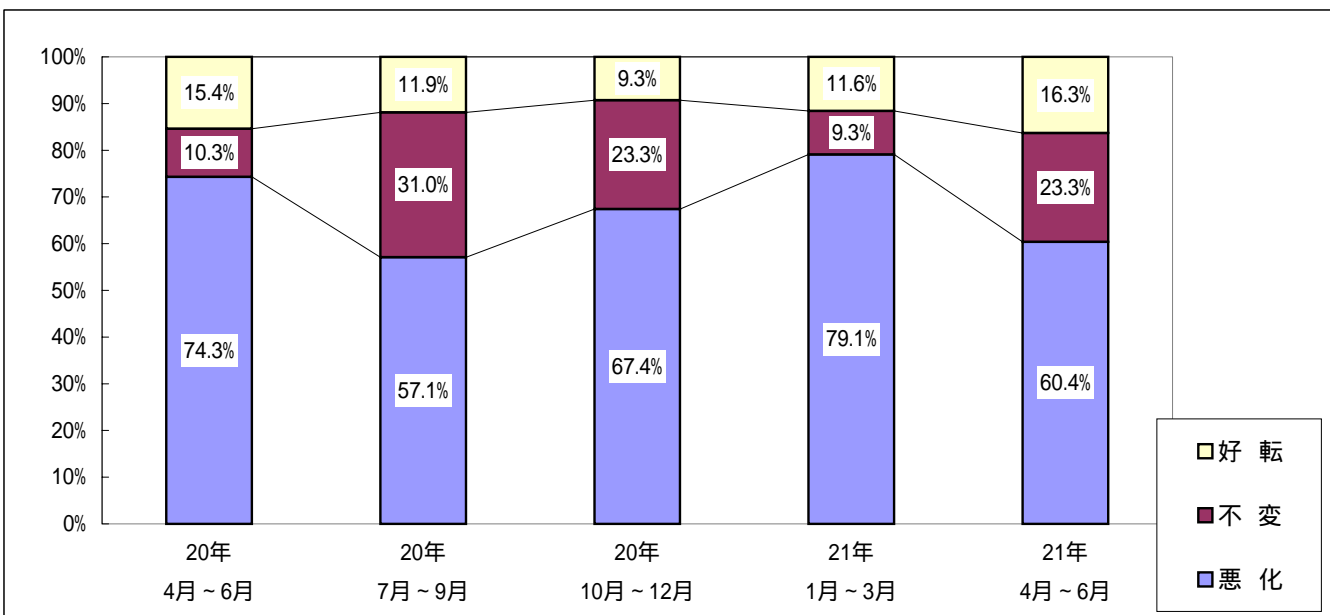
D・I（景気動向指数・前年同期比）は売上額がマイナス44.1（前期比23.4ポイント上昇）、採算はマイナス52.4（同15.0ポイント上昇）、資金繰りはマイナス46.4（同23.4ポイント上昇）となり、厳しいながらも上昇に転じている。

小売業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
売上額	-58.9%	-45.2%	-58.1%	-67.5%	-44.1%	-44.1%
商品仕入単価	57.5%	43.8%	38.0%	18.6%	2.3%	-7.1%
採算	-64.1%	-63.4%	-57.2%	-67.4%	-52.4%	-53.6%
資金繰り	-40.5%	-54.8%	-46.4%	-69.8%	-46.4%	-53.7%

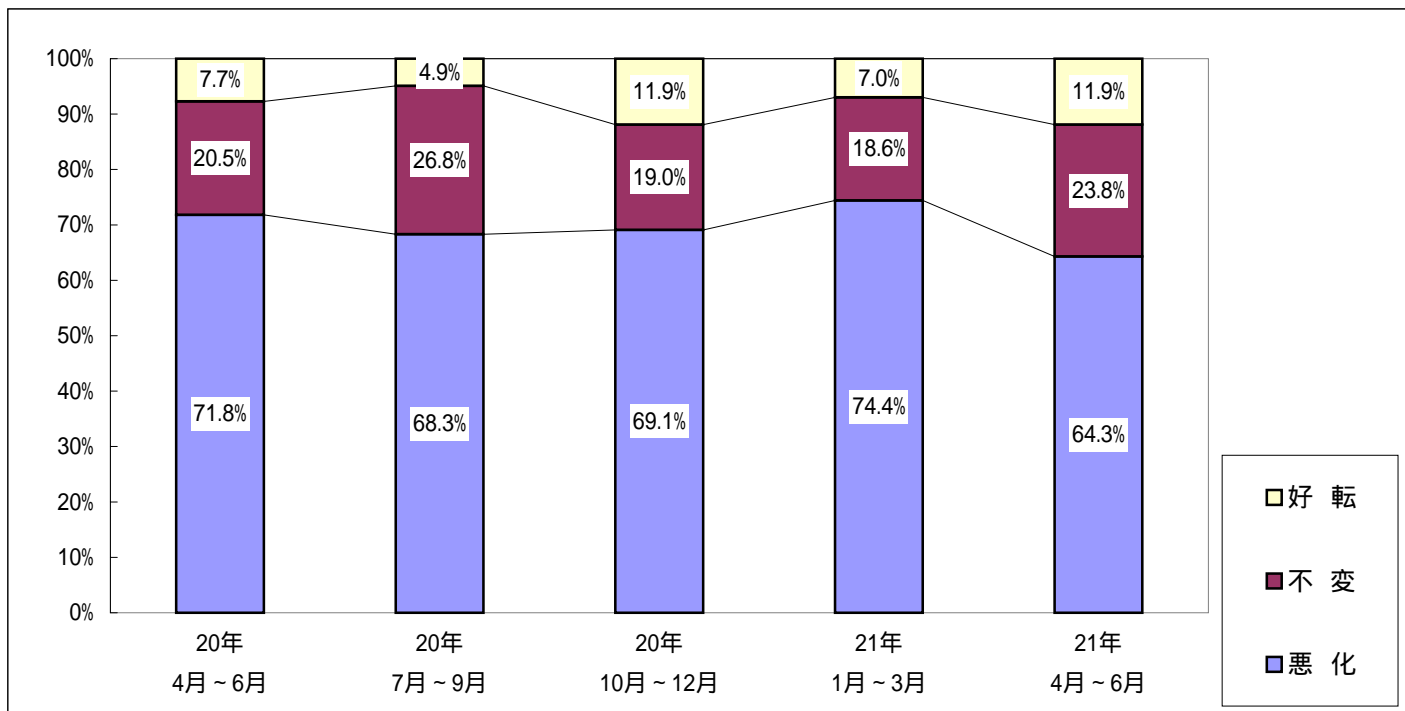
小売業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



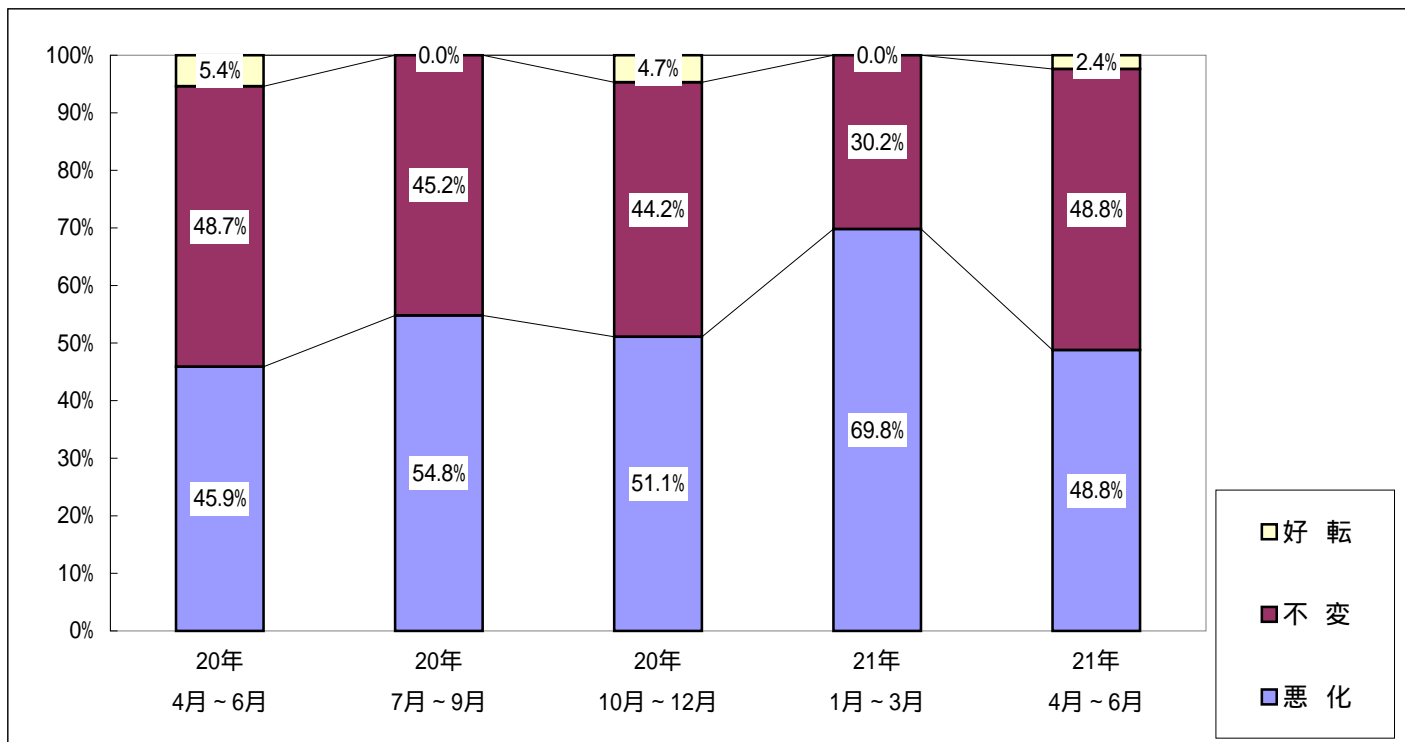
売上額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



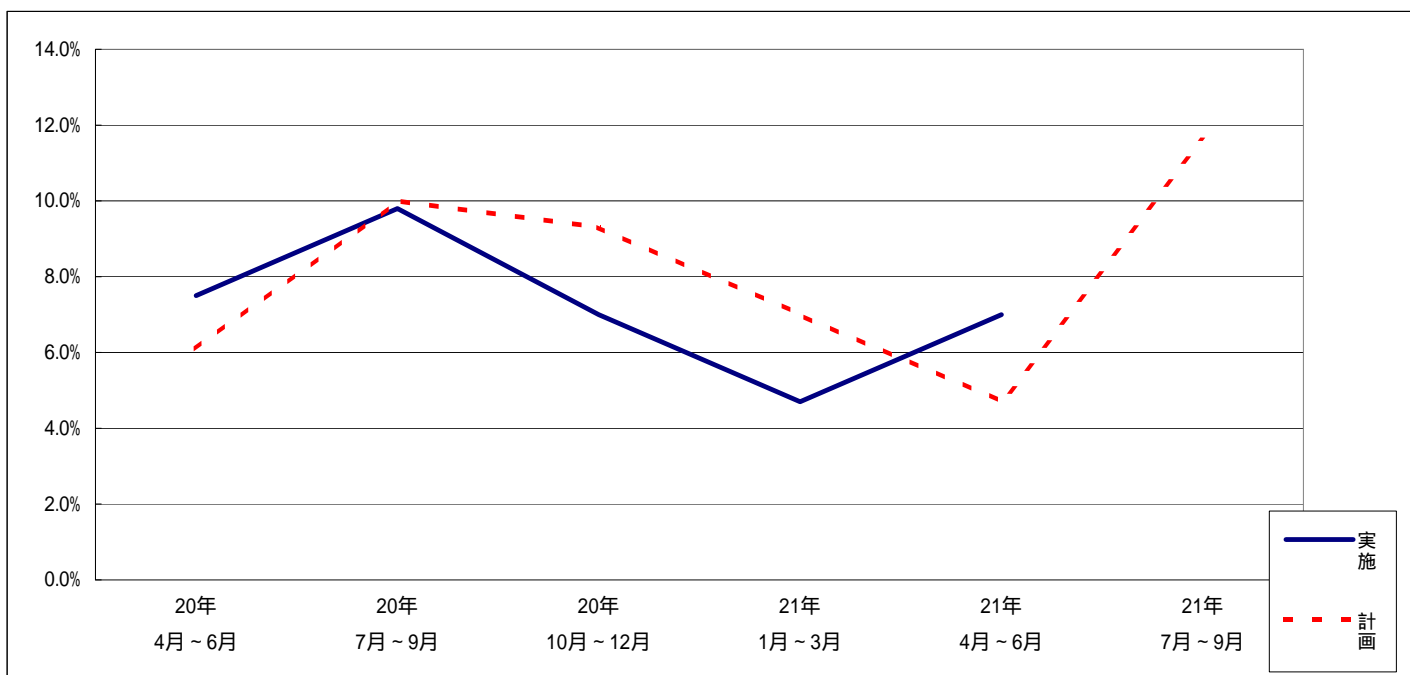
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

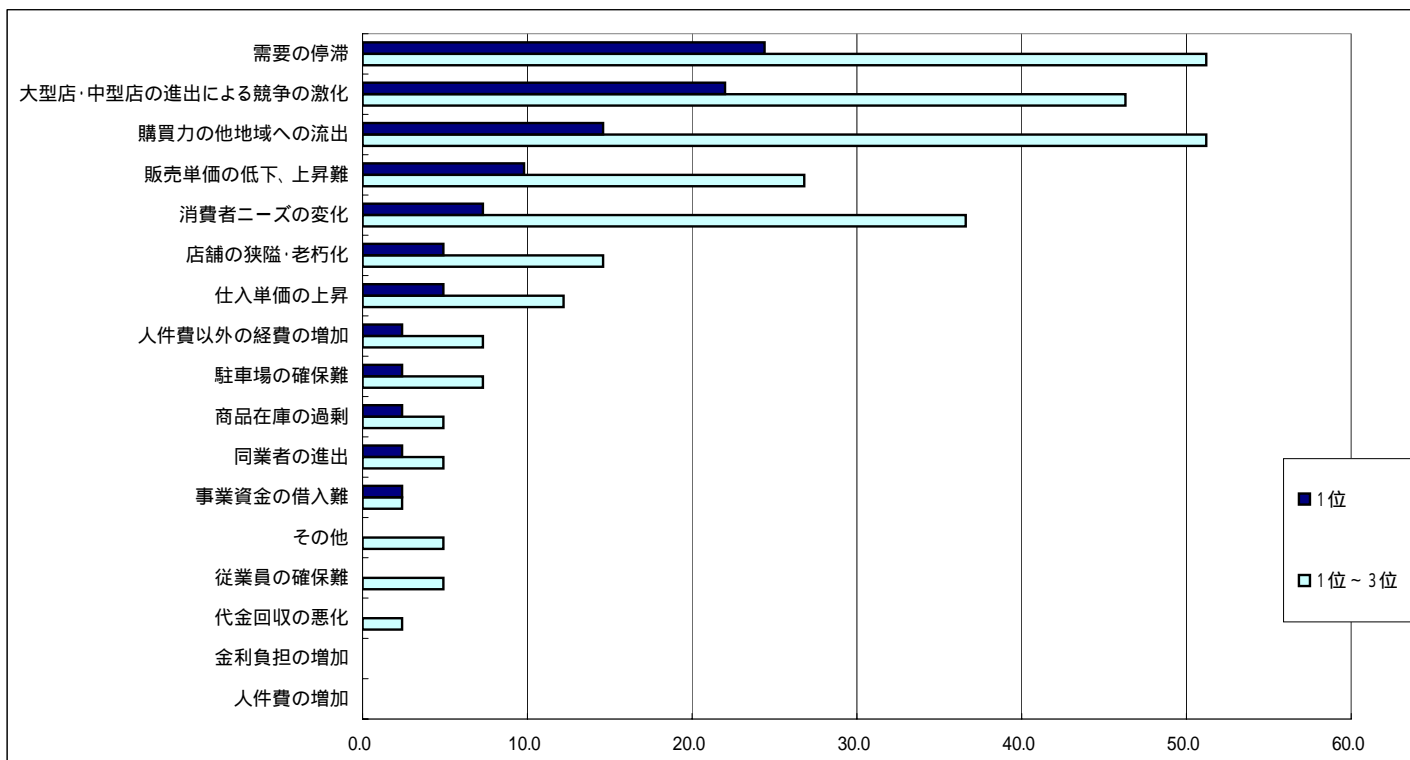
小 売 業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
土 地	0.0%	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	0.0%	25.0%	66.7%	100.0%	0.0%	20.0%
販売設備	66.7%	25.0%	33.3%	50.0%	66.7%	20.0%

21年7月～9月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

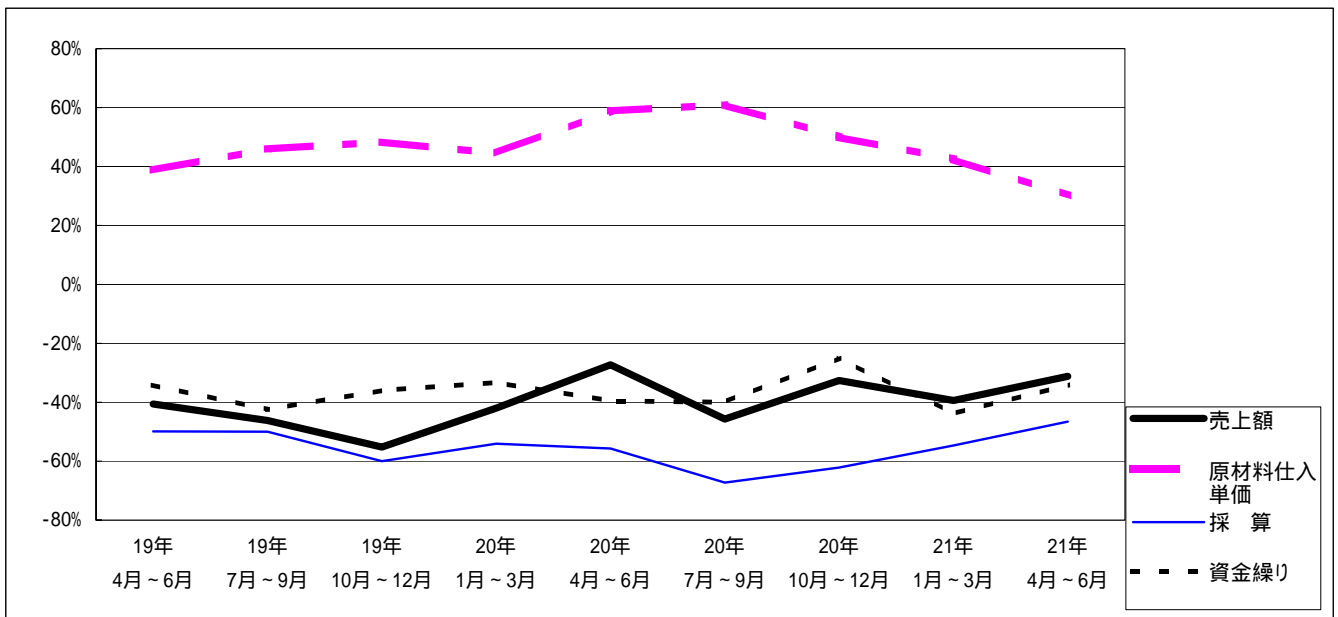
6. サービス業の景況

サービス業の推移

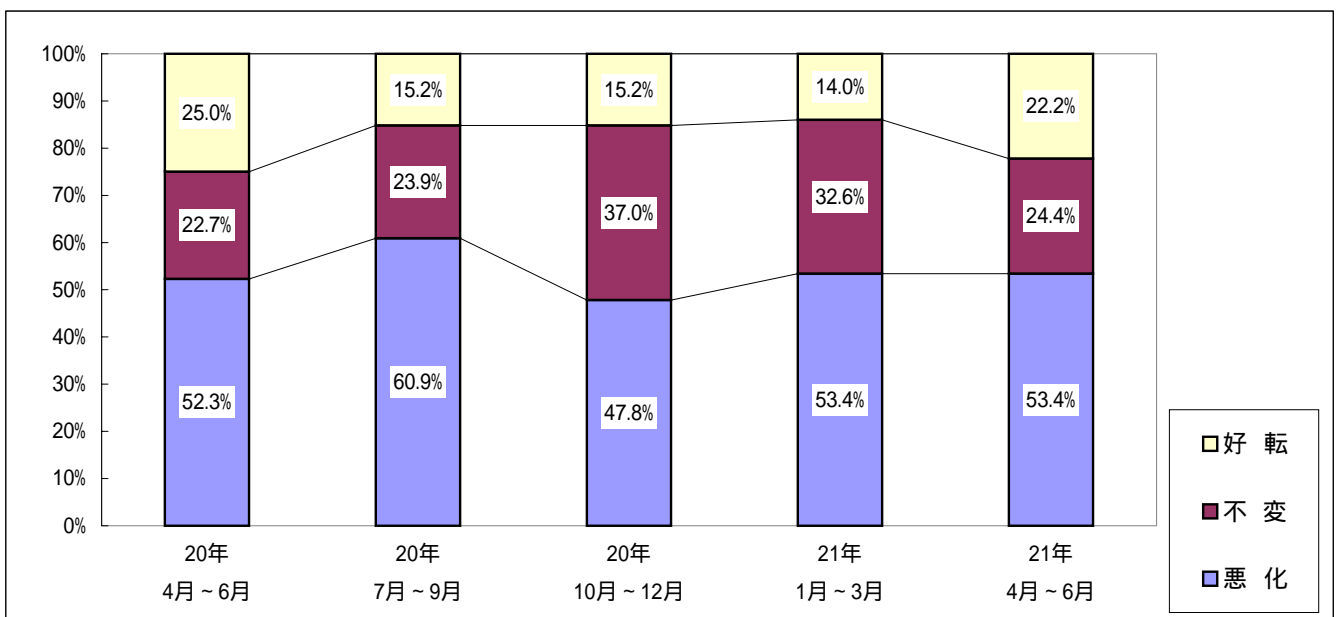
D・I（景気動向指数・前年同期比）は売上額がマイナス31.2(前期比8.2ポイント上昇)、採算はマイナス46.6（同8.1ポイント上昇）、資金繰りはマイナス34.1（同9.8ポイント上昇）となり、厳しいながらも緩やかな上昇に転じている。

サービス業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
売上額	-27.3%	-45.7%	-32.6%	-39.4%	-31.2%	-38.7%
原材料仕入単価	58.9%	61.0%	50.0%	42.5%	30.2%	12.2%
採算	-55.7%	-67.3%	-62.2%	-54.7%	-46.6%	-47.5%
資金繰り	-39.6%	-40.0%	-25.0%	-43.9%	-34.1%	-31.7%

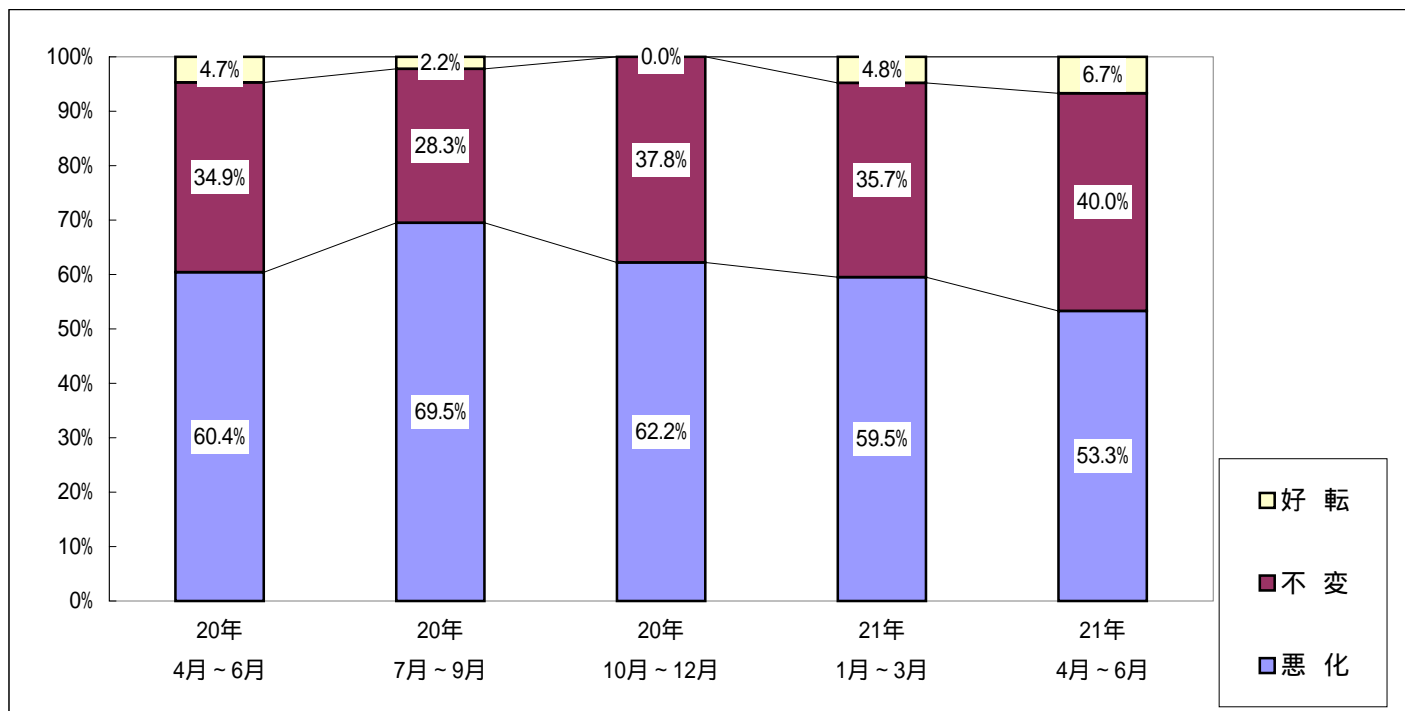
サービス業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



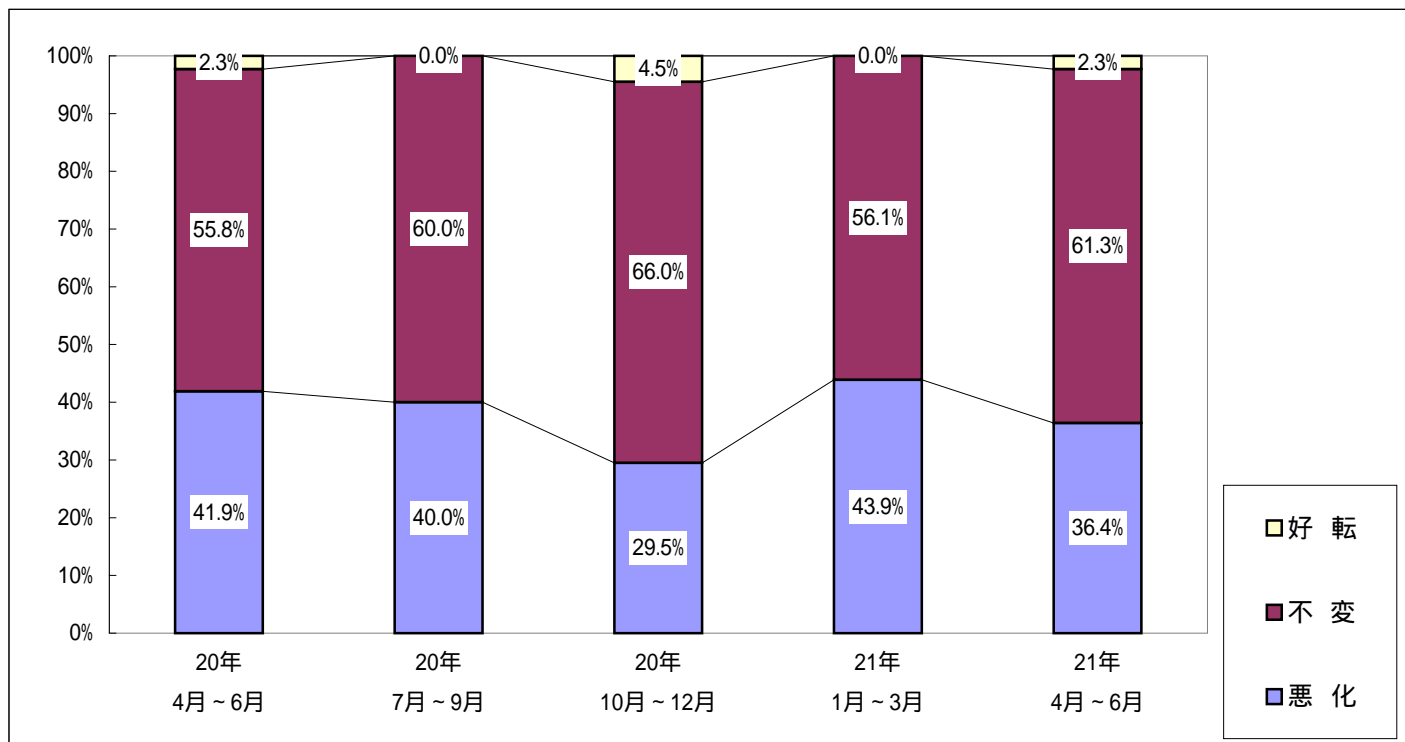
売上（収入）額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



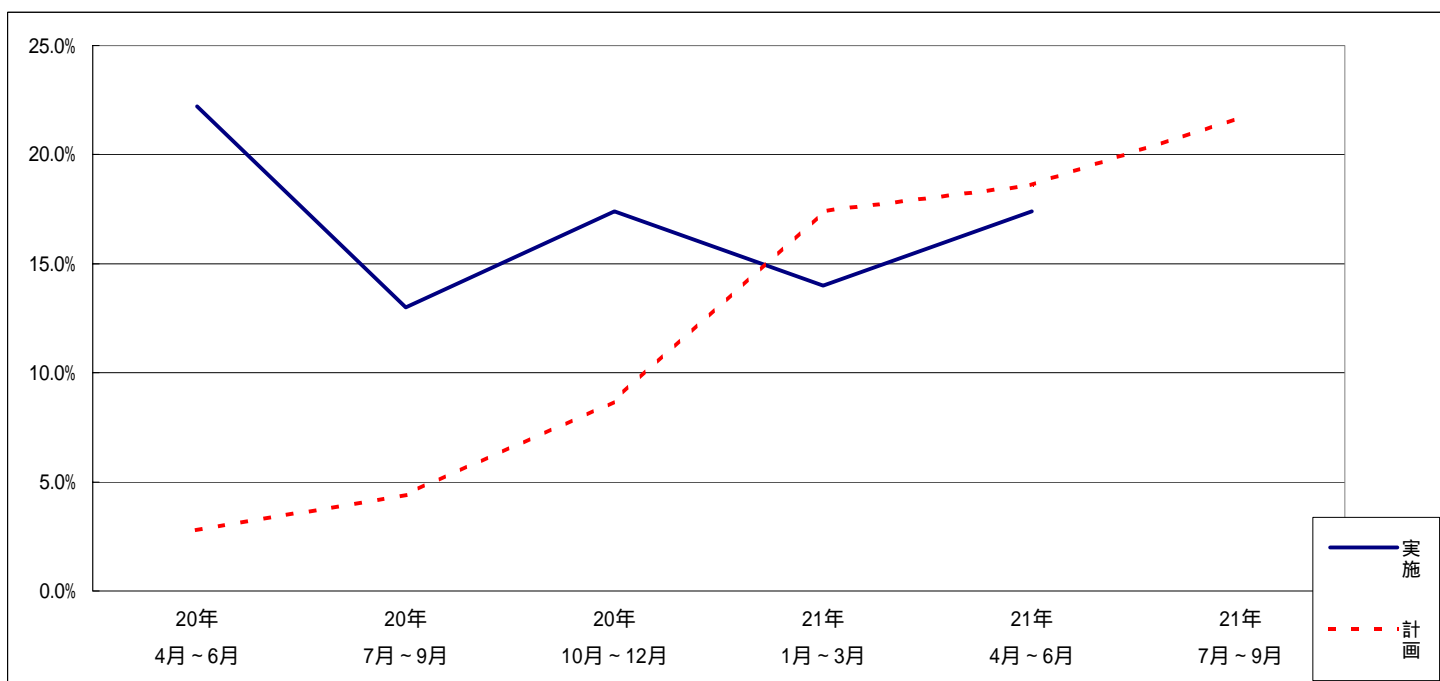
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

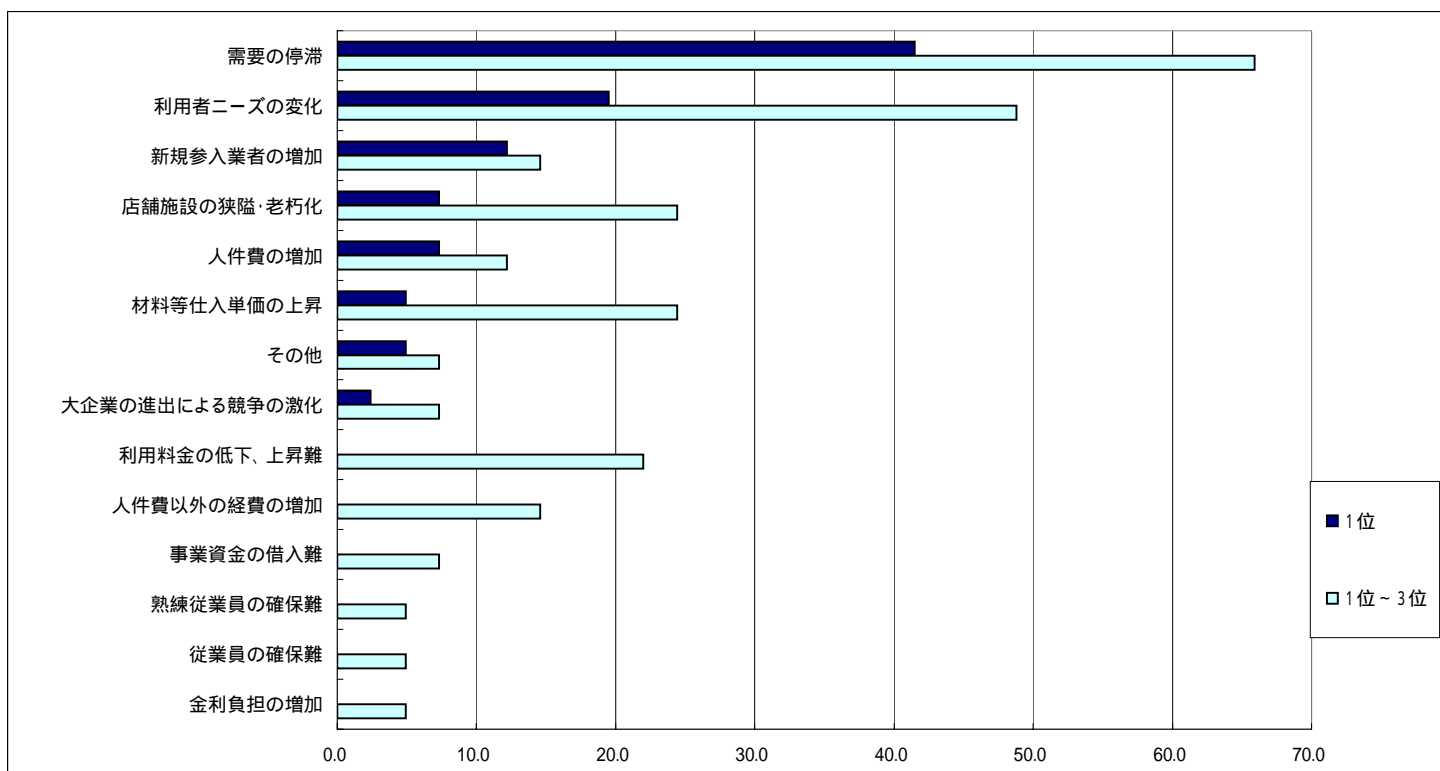
サービス業	20年 4月～6月	20年 7月～9月	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	10.0%	33.3%	25.0%	0.0%	37.5%	20.0%
サービス設備	20.0%	16.7%	25.0%	33.3%	12.5%	30.0%

21年7月～9月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

京都府商工会連合会

京都市右京区西院東中水町17番地
(西大路通り五条下ル東側)

京都府中小企業会館四階

郵便番号 615-0042

TEL. (075) 314-7151

FAX. (075) 315-1037

e-mail:office@kyoto-fsci.or.jp